

水之江区の紹介



水之江コミュニティセンター

網野町網野地区の中の図中緑色で囲まれた
範囲です（概略）。

昔でいうところの浅茂川村との境であり、非常に入り組んで双方の住民が住んでいました。半世紀前まではこの辺りにはあまり家屋がなかった記憶がありますが、現在は今述べましたように建て込んでおり、その境はわかりません。

平成3年、網野南北小学校配置による従来の公民館活動の範囲にずれが生じ、この時、水之江区にも新しく公民館体制が敷かれました。

平成 14 年 コミュニティセンターを新設
(旧三共織物の家屋を購入)され、区の集会場、
公民館活動などに利活用されています。

区本部は三役の「区長・副会長・会計」、「評議員 7 名」で構成されています。この評議員は三役員の任命で決まると言います。そして隣組単位（16 組）には組長が選出され、区本部の提案を 16 人の隣組長が審議、決議されるというシステムです。

区の中には広い公園が整備されていて、天気の良い日は子どもさん連れのお父さんお母さんが目につきます。公園の広場の片隅には網野町内の離村された尾坂から移送された「子安地蔵」が祀られています。

この場所では、毎年7月において（日程は年ごとに変わると言います）区主催の「夏の夕涼み会」が行われます。

相当の準備などをして、たいへんな賑わいで、

子供、大人問わず楽しい夜になっています。

他地区からも演芸愛好会などを招待していろいろな踊りを披露します。さらに、会場はビンゴゲームなどで盛り上がり、約 300 人ほどの区民で賑わい、夜 9 時半ごろには終了します。

区長さんに「300 人とはすごいですね、皆さんよく協力していただけますね？」と尋ねると、「事前に模擬店の食券を配布していて、食材調達の都合上、当日までに出席の確認をとるので参加予定の区民には、必ず来ていただいております」と語ってくれました。



尾坂より移送された「子安地蔵」が広場の片隅にあります



夏の夕涼み会



花火がすごいですよ！





水之江区

「地域まちづくり計画」を検討



網野町水之江区（世帯数 202）では、区役員会で意思決定を行い、平成 25 年 12 月から「地域まちづくり計画」の準備に入りました。準備委員会は副区長を中心に、区内における「住民アンケート」を基にその将来像を探るべく活動に動き出しています。

「水之江区」は昨春の地区紹介でもお伝えしましたが、元々、網野地区と浅茂川地区の境界地で人々が居住を始めたところであり、町内外の他地域から入って来られた住民の方も大勢おられます。そんな事情からなのか、本区はコミュニケーション活動へ積極的に取り組んでいると自負いたします。

近年、地区内には大きな織物工場などの跡地にアパートが建てられ、その居住者も増え、益々、同区の住民が増える（特に若い世代）傾向にあります。

まちづくり計画では地区財産の保全なども重要な事柄ですが、この「計画の策定」に住民が耳を傾け合うこと、また、アンケートなどでは住民自体から声を出し合う問題意識の共有と、その問題を解決しようとする努力に意義があると思うのです。そして、自らが住み求めた場所を、より永く、住みやすくする活動でもあると考えます。



地区内の中心にゆったりとした広場があります。

まちづくり計画は、市のホームページで事例が掲載されています。また、昨夏よりまちづくり計画を進めて策定に至った網野町浜詰地区も市のホームページで紹介されています。



市内でも一番大きな
区民センターかと思います

水之江コミュニティセンター

元・織物企業のこの施設は、当時、女子社員寮として利用され、また、昨夏は大学生 30 人以上が研修期間中の泊として利用して頂きました。色々な用途に使用される時は、十分な空間があると思います。地区内外問わず、安価な利用料で誰もが利用できます。

「水之江だより」での PR

毎月、地区で発行しています「水之江だより」は区民の皆様にも好評で喜んで頂いております。このたよりに、「地域（まち）づくり計画」への声、意見など要望を募っています。

まちづくり計画委員さんのご意見

大きなことを計画するのではなく、区民の皆様の安心・安全な暮らしが持続できる地区を目指しています。そして、隣近所の方々が、末永く仲良く暮らせる、そんな共生の街づくりが出来るよう、区民みんなで頑張っていきたいと考えております。

